



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2012年（平成24年）7月5日号 No. 1566

目次

■ ロシアのテクノパークの全体像	服部 倫卓	1
■ トピックス		7
ミットヨ、モスクワで現地法人を開設		7
NEC、ロシア携帯事業者にシステム納入		7
エーザイがロシアで初の販売承認取得		8
住友商事がロシアで携帯向け基地局リース		8
三井物産が搾油事業最大手に出資		8
JOGMECとガスプロムネフチが共同地質調査		8
NEDOがウクライナとの排出量取引		8
■ 統計速報		9
2012年1～5月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績		9
2012年1～5月の日ロ貿易		10

ロシアのテクノパークの全体像

ロシアNIS経済研究所 次長
服部 倫卓

はじめに

ロシアNIS貿易会では今年度、「ロシアのイノベーション促進政策とビジネスチャンス」と題する調査事業を実施している。最終的な調査成果は年度末にまとめる報告書に掲載する予定だが、調査の過程で得た有用な情報は当会の定期発行物で随時紹介していきたいと思う。

さて、ロシアのイノベーション政策に関連し、先日興味深いニュースが報じられた。中国系のICT企業ファーウェイが、サマラ州のトリヤッチに設けられたテクノパーク「ジグレフスカヤ・ドリナ」の入居企業として認定されたということである。この事例に見られるように、今後日系を含む外資系企業がロシアでの進出地を検討する際に、テクノパークが選択肢として浮上してくる可能性もあるだろう。そこで今回の速報では、ロシアのテクノパークに関する基礎的な情報を取りまとめてお伝えし、その全体像を示すことを試みたい。